

ちょっと昔のおもしろ道具

「むかしの道具を見て聴いて触ってみよう」

10/5
(土)

「闇を照らす 昔の明かりコレクション」



内 容 10月21日は「あかりの日」です。1879（明治12）年のこの日、エジソンが世界で初めて実用的な電球を作ること成功し、その偉業を称え制定されました。

日本でも明治20年、東京で一般向けの電気供給が始まりました。当時、電気と言えば「照明」のことを表していました。世界最初の電化製品は電灯であり、明かりがいかにより必要とされていたか分かります。今でも「照明を点ける」ことは「電気を点ける」と言います。大昔、暗闇を照らす明かりは、たき火から始まり、油、ろうそく、石炭、石油と進歩していきました。それにともなって道具も変化していきます。どんどん便利になりましたが、日本全国全ての家庭に電気が届いたのは昭和45年のことです。今回はそれまでに使われてきた照明の道具を紹介します。太陽の昇り沈み、月の満ち欠けに合わせた当時の生活に思いを馳せてみませんか。

日 時 令和6年10月5日（土）10:00～15:00

場 所 島田市博物館 分館

対 象 どなたでも参加大歓迎（参加者多数の場合は少し待っていただく場合があります）

参加料 観覧料のみ（中学生以下は観覧料無料）

詳細はホームページをご覧ください。

〒427-0037 静岡県島田市河原2丁目16番5号 TEL・FAX (0547) 34-3216

島田市博物館分館